

平成18年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	心のサポート推進事業費				
予算額	236,814千円	新規・継続の別	新規・継続		
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 いじめ、不登校等の問題行動や少年による凶悪犯罪の発生などが大きな社会問題となっていることを踏まえ、学校等における児童生徒や保護者の相談に対応する総合的なサポート体制（相談体制）を充実するとともに、不登校対策や生徒指導の充実を図る。				
	2 事業概要				
	相談体制の充実 (拡充)	区分 事業名 スクールカウンセラーの配置	対象 児童生徒 保護者 教職員	内 容 臨床心理士によるカウンセリング 児童生徒・教職員・保護者への助言・援助 中学校69 74校 高等学校12 15校	169,100
		事業名 トータルハイスター教育相談事業 家庭教育支援 相談事業	対象 児童生徒 保護者 教職員	内 容 精神科医、臨床心理士などの教育相談 電話・来所・巡回による教育相談 家庭教育カウンセラーの巡回相談 子どものこころセミナー 教育相談実技講座、ス・パ・バ・イザの委嘱	14,214
		事業名 教育相談ネットワーク事業	対象 教育相談員等	内 容 生徒指導・教育相談担当教員等の連絡協議会を開催し、市町村等との連携、成果の波及を図る	1,500
	不登校対策の充実 (新)	区分 事業名 心の居場所サポーターの配置	対象 児童生徒 保護者 教職員	内 容 学校に登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターの配置 小学校28校 中学校20校	24,000
		事業名 スクリーニング・サポートネットワーク整備事業	対象 児童生徒 保護者	内 容 不登校児童生徒の早期発見、早期対応などきめ細かな支援を行うため、不登校対策に関する中核的機能を充実	15,000
		事業名 不登校児童生徒へのIT等活用家庭学習支援事業	対象 児童生徒 保護者	内 容 不登校児童生徒に対して、ITや学習シートを活用した家庭学習等の支援の在り方について研究を委託	5,000
		事業名 民間施設連携支援事業	対象 民間施設 児童生徒 学校等	内 容 不登校児童生徒の学校復帰に向けて支援する民間施設に、学校等との連携や学習・体験プログラムの開発等について、実践研究を委託	1,500
		事業名 ふれあい宿泊学習	対象 児童生徒 保護者	内 容 南山城・るり溪少年自然の家を活用した、不登校傾向にある児童生徒に対する宿泊体験活動を実施	3,000
生徒指導の充実	事業名 不登校に関するネットワーク交流会	対象 教職員 民間施設 府民等	内 容 京都府内における不登校総合対策事業の成果を検証する場として、各事業の取組状況を報告・交流する交流会を開催	1,000	
	事業名 生徒指導推進協力員の配置	対象 児童 保護者 教職員	内 容 校内の生徒指導体制強化等のため小学校に生徒指導推進協力員を配置 小学校14校	1,500	
事業名 生徒指導総合連携推進事業	対象 学校 保護者 地域住民	内 容 家庭・学校・地域社会等が一体となって、地域が抱える生徒指導上の諸問題に係る調査研究及びその成果を踏まえた実践的な取組を実施 1市町村	1,000		
計			236,814		
担当課・係名	学校教育課 指導第2係 高校教育課 指導第1係 社会教育課 振興係	課・係 電話番号	075-414-5840 075-414-5851 075-414-5883		